

# 全日本ジュニアチャンピオンシップ、ジャパンアスリートカップで優勝

2冠を達成した佐々木ひかる(はるひ野道場)選手が掲載されました！

## タウンニュース

2023年  
(令和5年)  
4月21日(金)号  
No.862

麻生区版 ■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>  
■編集室：〒211-0042 川崎市中原区下新城三丁目14-7 TEL:044-741-4111 (代) FAX:044-741-4002

読者限定プレゼント！  
Amazonギフト券  
1,000円分  
毎月30名様当たる！  
会員登録はこちら！

メール版  
タウンニュース

タウンニュース  
forLINE

白鳥中1年  
佐々木さん

# 空手2大会で全国優勝

## 福田市市長を表敬訪問



ベルトとトロフィーを手に、福田市市長に優勝を報告する佐々木さん

空手の2つの全国大会で優勝した佐々木ひかるさん(市立白鳥中学校1年)が4月13日、川崎市役所を訪れ、福田紀彦市長に優勝報告を行った。佐々木さんは、世界全極真志優会(はるひ野道場)に通っており、2大会で全国優勝を決めたのは自身初。「今年、両方の大会で連覇を目指したい」と今後の目標を語る。

小6だった昨年12月に愛知県豊田市で行われた「全日本ジュニアチャンピオンシップ」に、関東予選を勝ち抜いて出場した佐々木さん。同大会は直接打撃制(フルコンタクト)で、全国の各地区予選を勝ち抜いた約1370人が出場。幼年から

高校生まで、年齢や体重などに分かれて競われる中、佐々木さんは小学6年生・女子重量級(42キロ)に出場した。「小4のときに優勝して、前回はベスト8で負けていたので、優勝しなかった」と佐々木さんは振り返る。1回戦から勝

ち上がり、決勝では、前大会の準々決勝で負けた選手と対戦。160センチ、55キロの佐々木さんを大きく上回る体格の選手を相手に、延長戦で判定勝ちし、2年ぶりの優勝を決めた。「最初は緊張していたし、延長で体力が限界に近かった。試合が終わって自分に旗があがり、言葉にならない気持ちで、うれしかった」と舌を弾ませた。

今年1月に大阪で行われた「W・K・Oジャパンアスリートカップ」も、同じくフルコンタクトの大会で、全国の各地区予選を勝ち抜いた870人が出場。佐々木さんは、小6女子の部(40キロ以上)に出場し、1回戦から勝ち上がっていつ

た。「決勝の相手は、今まで対戦したことがなく、強いとうわさになっていた選手だった。会場のライトアップもすごく緊張したけど、勝つことができた。大阪まで行ったので、勝って安心したし、うれしかった」と振り返った。

市役所を訪れ、福田市市長に大会の優勝を報告した佐々木さん。福田市長は「2つの大会で優勝し、川崎市から日本一が出るのはうれしく、誇らしい。激しいフルコンタクトは勇気がいる。それを乗り切ったの優勝。さらなる高みを目指して、頑張ってください」と労い、エールを送った。

### 目指すは2連覇

佐々木さんは4人きょうだいの次女で、空手を始めたのは小1から。在学していた栗木台小の体育館で、空手の練習をしていたのを見て興味を

## 雨のマルシェ

麻生区や神奈川県内外の飲食、地場野菜、手づくり雑貨の店が集まる「しんゆりフェスティバル・マルシェ」が4月15日、16日、新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキで開催された。

まちづくり団体「新百合ヶ丘エリアマネジメン

持った。それから週に5回、練習に励み、実力を伸ばしていった。「やりたいことに集中して、徹底できる」と父親の友三郎さん。志優会の新津茂男代表は「芯が強く、向上心がある選手」と佐々木さんを評する。佐々木さんは「パンチが課題。蹴りにつなげて隙のない戦いがしたい。大会2連覇を目指して頑張りたい」と目標を語った。